



●夏期開園は2020年11月3日(火・祝)まで。開園時間は午前9:30～午後4:30(入園は午後4:00まで)。11月4日(水)～10(火)は休園。●冬期開園は11月11日(水)からです。開園時間は午前10:30～午後3:30(入園は午後3:00まで)。12月30日(水)～2021年1月1日(祝)は休園。体調が悪い方、発熱がある方は入園をご遠慮ください。

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎0166-36-1104

オス：蓮蓮(レンレン)



メス：桜桜(リンリン)



2頭ともそっくりですが、オスの蓮蓮(レンレン)の方が少しだけ色が薄く(特に首の後ろ)、耳と目の間が広く見えます。性格はそれぞれ違い、食いしんぼうで甘えんぼうなのがオスの蓮蓮(レンレン)、メスの桜桜(リンリン)は好奇心旺盛で、一頭で遊ぶことも多いそうです。



渝渝(ユーユー)が・蓮蓮(レンレン)の首をくわえて移動させていました(9/27)

親のプーアル&渝渝(ユーユー)

今年の2月に長野市茶臼山動物園より来園。毛並みがモコモコした立派な体格のオス。2015年生まれ



父：プーアル

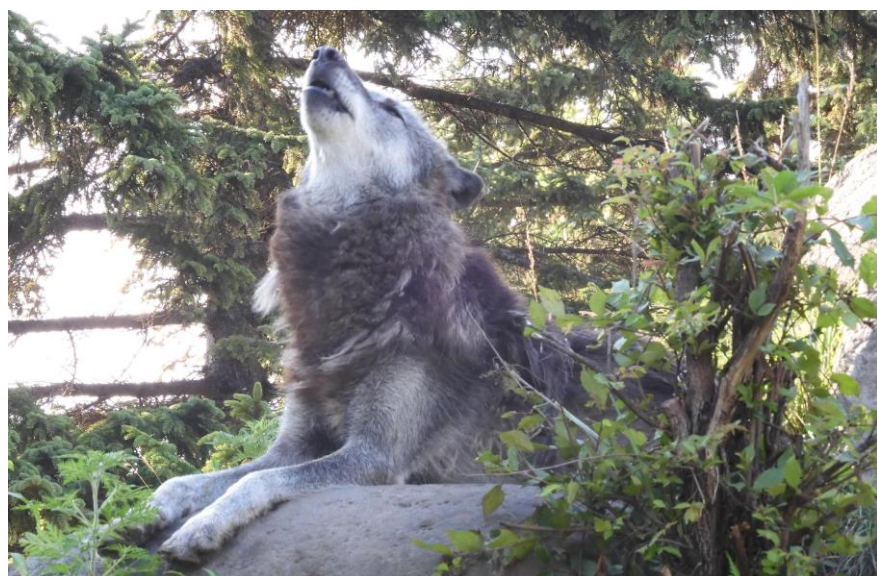
これまでに4回出産しているベテランのお母さん。プーアルとの繁殖は今回が初めて。2011年生まれ



母：渝渝(ユーユー)

6/29生まれのレッサーパンダの子が放飼場に出てきました

9月末から、6/29に生まれた2頭のレッサーパンダの子が放飼場に出る練習を始めました。大人のレッサーパンダをそのまま小さくしたような子はまるまるとした体格。縞模様の尻尾は、胴とおなじぐらいに見えるほど太くフサフサです。頭と体のバランスも親と違い、胴と脚が短く頭がとても大きいです。子ども同士ではしゃぐ様子には思わず目尻が下がりますよ。放飼場に慣れるまでは、しばらくのあいだ不定期の展示となります。



シンリンオオカミの「ケン」が死亡しました

2007年5月生まれで、同年10月にカナダより来園した「ケン」が10月10日、多臓器不全による老衰のため死亡しました。13歳でした。「ケン」は2008年の「オオカミの森」オープン時から今まで、メスの「マース」との間に9頭の子をもうけ、「オオカミの森」の群れの父として、アルファ(第一位オス)として群れを率いてきました。

木の実も、木の葉も、木の枝も動物たちのために使っています！

旭山動物園では、園内に生えている木を動物たちのために使っています。夏は、長くのびた枝葉を草食獣のエサに、秋に実ったドングリはエゾシカやトナカイ、エゾヒグマやニホンイノシシ、エゾリスなどのエサとして与えています。園内に落ちているドングリのなる木はミズナラ、カシワ、アカナラがほとんどです。葉っぱや植物の看板などもぜひ見てみてくださいね。木の実のほかにもエゾノコリンゴやナシ、ヤマブドウ、クリなどがあります。ちなみに、紅葉が終わって落ちた葉は、「もうじゅう館」や「さる山」などいろんな獣舎の床材に、細めの木の幹は鳥類の止まり木に、太めの幹もいろいろなところに利用しています。



カシワ

【葉】ふちに角がまるいギザギザがある。裏面には短い毛がはえている

【ドングリ】帽子にはクリのイガのようなものがはえている

ミズナラ

【葉】ふちに大きなギザギザがある
【ドングリ】ぶつぶつのウロコのような帽子。アカナラの帽子より深め



アカナラ

【葉】ふちに切れ込みが深いギザギザがある
【ドングリ】ぶつぶつのウロコのような帽子。ミズナラの帽子より浅く平ら

これからのイベント

※情報は10/18現在のもので

「もぐもぐタイム」「なるほどガイド」は新型コロナウイルス感染症対策のため、平日のみの実施となっております。来園者同士距離を保ちながらガイドを楽しんでください。

「ワンポイントガイド」は毎週日曜と祝祭日の13:30から公式YouTubeチャンネルで生配信しております。



12/1(火)より、小学生を対象にした第21回動物読書感想文コンクールの作品募集が始まります

寒い冬に向けた対策をする動物たちの変化は必見！
2020年もあとわずか。雪に覆われる季節がやってきます。北海道は日本のなかでも四季がはっきりしている場所。動物園は季節の変わり目を多く感じられる場所です。旭山動物園では、北海道だけでなく北方系の動物を多く飼育しているのも、季節ごとに変化する動物の種類も多いのです。毛の色や質が変わったり、脂肪を蓄えて太るほか、脚の裏に毛がはえている、耳や鼻先のてっぱりが少ない：といったもともと備わっている体の特徴が寒冷地仕様の動物もいます。動物たちは冬対策を終え始めています。